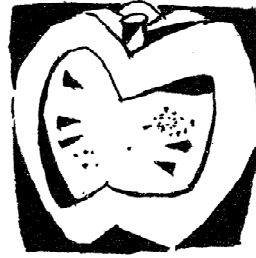


農業



平成28年10月号
会誌 No. 1617

目次

巻頭言

田中芳男—日本の博物館を築いた男……………林 良博 3

論壇

稲作の圃場別原価計算と単収……………荒幡 克己 4

農事功績者座談会

養鶏専作法人経営…………… 6

有限会社藤原養鶏場の経営と思い……………藤原 儀英 6

現地指導者のコメント……………伊藤 東子 12

意見交換…………… 13

表彰農家訪問

自園自製茶による高品質かぶせ茶生産と

くつろぎの緑茶カフェ経営を展開……………平岩 進 24

—三重県四日市市に清水正美さんを訪ねて—

研究の最前線

ブドウ「シャインマスカット」の育成……………佐藤 明彦 33

—その背景と今後の育種—

農業・農村の現場から

ブドウ「ルビーロマン」のブランド化の推進……………高枝 正成 42
– 全国ブランドを目指して –

世界の農業は今

気候変動と世界の食料安全保障……………小泉 達治 48
– その影響と軽減に向けた取り組み –

私の経営と志

みんなが HAPPY になるために！ ……………上村 伸子 54

統計情報

…………… 56

平成27年新規就農者調査

農政情報

…………… 57

大日本農会だより…………… 58

ミニ情報

地理的表示保護制度（GI）に基づき登録された特定農林水産物(3)…………… 41
--

表紙写真説明

アワの収穫・乾燥調製（岩手県二戸地方）

岩手県北部に位置する二戸地方では、平安時代の畑跡から雑穀の種子が発見されるなど、冷涼な気候と豊かな自然環境を生かし、古くから雑穀の生産が行われてきた。その中でもアワは、もち種が多く、「粟餅」や「粟ぜんざい」などにみられるように加工適性が高いため需要があり、多く生産されている雑穀のひとつである。

二戸地方では、雑穀を無農薬で栽培することなどでブランド化しており、一部には大規模な機械による栽培もあるものの、多くは、小規模の生産者が手間暇かけて、丁寧に手作業で栽培している。

栄養的には、マグネシウムや鉄、亜鉛、銅、ビタミンB₁、パントテン酸を多く含む。

近年では、岩手県が品種開発した黄色の鮮やかなもち性アワ「ゆいこがね」に対する実需の評価が高まったことから、栽培する農家も増えている。「ゆいこがね」には、上記の成分のほか、注目の機能性成分ルテインが含まれている。

（元岩手県県北広域振興局農政部二戸農林振興センター

現岩手県県南広域振興局農政部一関農林振興センター 佐藤明子）